

令和7年
2025年

11月10日
月曜日

第11830号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



- ▶【11月の相場見通し】豚肉……………P2～3
- ▶【11月の相場見通し】鶏肉、輸入牛肉、素牛……P3
- ▶[食肉家計調査・9月]支出肉類計は8001円で前年超え……………P4
- ▶[豚肉調製品輸入通関・9月]シーズンドなど合計9681tで0.3%増……………P5
- ▶プリマハム決算会見④、輸入ポークのブランド開拓強化……………P6
- ▶日本食肉消費総合センター、11月15～16日に和牛肉の無料試食イベント実施へ……P6～7
- ▶JPPAの「養豚農業実態調査」WEB・エクセルフォーム回答は11月30日まで……………P7
- ▶[調理食品支出金額・9月]合計1万3259円で5.9%増……………P7
- ▶【東京食肉卸売市場】牛はもちあい、豚は弱もちあいか……………P8
- ▶【大阪市食肉卸売市場】和牛5等級ジリ高、豚堅調な引き合い続く……………P8
- ▶[焼きたてのかるび]アプリクーポンが当たる、韓国フェア第1弾 販売記念Xキャンペーンを開催……………P8
- ▶[資料]2025年9月の食肉輸入通関実績⑩……………P9
- ▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]7日……P10
- ▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]7日…P11

注目のヘッドライン

【11月の相場見通し】豚肉
…詳細はP2～3

【11月の相場見通し】鶏肉、輸入牛肉、素牛
…詳細はP3



改訂新版 **牛枝肉・部分肉の分割と商品化**

職人の技 カラー写真 丁寧な解説

新刊 B5判/216頁
定価 **5,500円** (税込) (送料別)

食肉通信社

【11月の相場見通し】豚肉

【豚枝肉】500円台での展開か、出荷頭数2桁減の予測

【東京】10月は中旬以降、ようやく厳しかった残暑も一段落し、秋らしい気候となったことで全国的に出荷頭数が増加。一方、行楽シーズンではあるものの、引き続き消費者の節約志向などが根強い中、枝肉相場は軟調な展開となり、一時は500円を割り込むような気配もみせた。

ただ、農水省の肉豚生産出荷予測(10月23日発表)によると、11月は132万頭と前年同月比6%減となっており、平年比では10%減と2桁減の予測となっている。

この時期としては、低調な出荷頭数になることが見込まれているだけに、例年以上に需給が締まり、相場を押し上げる可能性がある。気温もさらに下がり、暑さの影響で出遅れていた鍋物需要も高まりそうだ。

【大阪】10月の大阪市場の豚枝肉相場は、おおむね500~600円程度と高値ではあるが、一時に比べるとかなり落ち着いた価格で推移している。時折、800~1千円台に急騰するのもこの市場の特徴ではあるが、傾向としては弱基調といえる。

11~12月は年末需要が高まる時期だが、全国的な出荷頭数の回復や、この引き合いの落ち着いた中では、このまま相場は下落に向かいそうだ。大幅な下落とはいかないが、500円台前半に落ち着くか。

【福岡】疾病やこの間の暑さの影響で肉豚の出荷状況は不安定ながら正常化しつつある。バラなど鍋材の本格的な動き出しが期待される一方で、供給増と消費者の節約志向の根強さで需給は緩み、弱もちあいが続くか。

値動きは1日当たりの上場頭数次第でまちまち。引き続き先行指標の関東周辺市場など他市場の動きを意識する。月平均予想は500円台後半。豚熱など全国的な疾病の影響は懸念材料だ。

【豚部分肉】下旬には中部位良化、冷凍品はスソ物中心に

【関東】冷蔵品は引き続きウデやモモなどのア

イテムについては安定した需要が継続している。また、本格的な鍋シーズンに入ったことで、バラやカタロスといったスライス系アイテムにも徐々に引き合いがみられる。

11月はさらに気温も下がることが見込まれ、堅調な荷動きが継続しそうだ。下旬からは年末需要に向けてロインなどの荷動き良化にも期待がかかる。

冷凍品については、季節的な需要の高まりもあり、ひき材などを中心に引き合いは強く、スソ物の荷動きは堅調。また、バラやロインなど、中部位の荷動きはまだそれほど強くないが、徐々に引き合いも強まっていきそうだ。パーティーシーズンに向けて、スペアリブなどの需要も高まるか。

【関西】ようやく気温が低下し、秋らしい気候となってきたことで量販店もスライス材の需要が高まってきた。夏場の相場高でスソ物を一部、輸入物にシフトする流れもあり、9月から10月前半まではウデ、モモの在庫は積み上がっていたが、消化しつつあるようだ。

一方で中部位ではバラが焼き材、スライス材ともに需要は堅調で品薄高の傾向が続く。カタロスも小幅上伸。ロースは内食向けはそこそこだが、トンカツ店の増加で外食向けのボリュームが上昇し、強もちあい。全体的には例年通り、月末から12月上旬にかけて一段高か。

【輸入豚肉】ロイン、ベリーは堅調、フローズンには一服感

為替の円安基調が続いており、11月も大きく円高に振れるようなケースは想定しづらい。また、国内の出荷頭数が増加基調となっており、国産相場も軟調な展開になることが予想される。量販店などの売り場では輸入チルドポークから国産へシフトするケースも散見される。

ただ、輸入ポークの需要自体は強いものがあり、一定の引き合いは続きそうだ。引き続きロインやベリーなどのアイテムは堅調な荷動きとなりそうだ。

一方、フローズンポークは一時期に比べると落ち着いてきたものの、引き続き全体的に在庫水準

は高い。ピクニックなどのスソ物を中心にそれなりに荷動きはあるものの、需要の端境期でもあ

り、ベリー等の引き合いにも一服感がみられるか。

【11月の相場見通し】鶏肉、輸入牛肉、素牛

【鶏肉】生鮮モモはジリ高に、ムネは560円前後で高止まり、冷凍は総じてもちあい

【国産鶏肉】生鮮モモ肉は鍋物、煮物用途で最需要期となる年末年始に向かい、ジリ高で値を上げる。日経加重平均の東京相場で10月中740円前後と前年を50円ほど上回る高値にあることなどから、値動きはやや小刻みなものになりそうだ。11月中旬に750円前後、下旬に入って760円前後となるか。

生鮮ムネは低価格志向なども背景に、需要が堅調なことから560円前後での高止まりが続く。冷凍物については各部位共に、おおむねもちあいで推移。ムネ肉は加工用途での需要が安定していることから下げ要因がない。モモ肉については高病原性鳥インフルエンザ流行のリスク回避の買いがやや活発化することも考えられる。

【輸入牛肉】焼き材は依然堅調に、需要高まり白物も強気

依然として焼き材中心の動き。主要焼き材であるタン、アウトサイドスカート、ハンギングテンダーは、需要が大きく盛り上がっているとはいえないが、長く高値圏が続いており、大手各社とも積極的な在庫確保を自重する傾向にある。

そのため、市中の玉は少なく、需給はタイト。また、長く続いた猛暑で今年の夏はBBQ関連の商材の動きが大きく落ち込んでいたが、10月以降、BBQセットを拡販しようという量販店の動きもみられ、引き合いはおおむね堅調。

肉フェスなどの催事も活況となることから、需給の緩みは考えにくく、米国産の頭数も依然として少ないことから、年末に向けて高止まりか。

一方、白物は量販店でも鍋物商材に徐々にシフトし、ラージ、スモール共に強もちあい。荷余り感の強かったラージの在庫も解消が進み、600円から600円台後半か。スモールも同様。

【素牛】和子牛は強もちあい、需給タイトで乳牛強気

【和子牛】10月23日公表の市場成績（全農、速報）は全国平均（税込み、雌・去勢を含む）が9月終値から3千円高の約67万5千円（下旬を除く）となった。上げ幅は小幅で実需は弱気だが、全国的な肉牛資源の減少で各市場の上場頭数は減少傾向にあり需給は引き締まった。

性別では雌が3千円高の61万円、去勢は3500円高の72万5千円に。騰落状況はまちまちで、前日までに取引を終えた43市場のうち半数超が9月を下回った。素牛の品薄感から低級品が拾われ、相場は底堅い一方、枝肉の販売環境は伸び悩み、優良血統産子など高級品の「上値は総じて重い」（関係者）

11月も販売環境の回復は期待薄とみられるが、肉牛出荷の最盛期に入り肥育業者らの空き牛舎への導入意欲は強まる。この結果、相場基調は強もちあい、全国平均は去勢で72万～73万円、雌は61万～62万円とみる。

【乳子牛】10月の乳牛去勢枝肉相場は、消費者の生活防衛意識が高まる中、行楽需要の増加に伴い、輸入牛肉の代替としての需要が高まり高値で推移した。素牛価格は昨年夏の猛暑による影響で上場頭数が減少する中、枝肉相場が堅調に推移したことから上げの展開となった。

北海道主要7市場における乳雄初生牛の取引概況は、依然として逼迫した需給状態が続いており、乳雄資源の不足が続いていることから、10月価格の据え置き^{ひっばく}の相場展開となった。

11月は鍋物需要が期待される時期となり、量販店や外食店などで一定の需要が見込まれる。さらにインバウンド需要も増加すると思われ、枝肉相場は高値で推移することが予想される。全国主要家畜市場における乳雄素牛の取引は、依然として逼迫した需給状態が続いており、高値で推移する見込み。北海道内における初生ホル雄の取引価格は、10月価格の据え置きか。交雑種は雌37万円前後、去勢42万円前後の展開が予想される。

【食肉家計調査・9月】支出肉類計は8001円で前年超え

総務省統計局が公表した9月家計調査報告(2人以上世帯=1世帯当たり・品目別)によると、肉類支出金額は8001円(前年同月比2.9%増)で前年超えとなった。

生鮮肉への支出金額は6519円(3.3%増)と増加した。内訳をみると、牛肉への支出金額が1532円(6.8%減)、購入量が418g(13.1%減)と大幅に減少。豚肉は支出金額が2859円(6.4%増)、購入

量が1807g(3.9%増)と増え、鶏肉は支出金額が1599円(9.0%増)、購入量が1441g(5.6%減)となっている。

その他、合いびき肉は支出金額が294円(4.3%増)、購入量は204g(2.0%増)、他の生鮮肉は支出金額が236円(3.5%増)、購入量は117g(13.3%減)。また、加工肉計の支出金額は1482円(1.4%増)となった。

家計調査による肉類支出金額および購入量(全国・二人以上の世帯1世帯あたり・品目別)

単位:円、グラム、%

	肉類計		生鮮肉計				牛肉			豚肉			
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	
5年計	98,457	101.9	79,811	102.0	21,449	95.9	5,853	94.4	33,553	103.3	22,041	98.9	
6年上半期計	48,370	101.2	39,409	101.3	9,985	98.8	2,688	93.3	16,731	100.6	11,057	100.3	
6年9月	7,772	100.5	6,309	100.5	1,644	107.0	481	103.4	2,688	97.6	1,740	97.7	
10月	8,119	100.2	6,611	100.2	1,631	100.6	422	97.9	2,850	99.6	1,774	95.9	
11月	8,254	100.5	6,650	99.8	1,560	91.0	457	102.7	2,927	102.3	1,856	100.4	
12月	10,842	101.8	8,895	102.4	3,090	102.1	620	94.8	3,148	102.9	1,993	98.6	
6年計	99,326	100.9	80,658	101.1	21,321	99.4	5,529	94.5	33,818	100.8	21,835	99.1	
7年1月	8,115	100.2	6,730	99.9	1,633	93.2	435	96.2	2,901	101.2	1,789	98.1	
2月	7,654	97.6	6,290	97.4	1,398	91.9	387	93.7	2,777	98.9	1,722	91.4	
3月	8,356	100.4	6,835	100.4	1,568	92.0	425	91.0	2,991	103.4	1,910	99.4	
4月	8,252	104.7	6,695	105.3	1,618	101.0	439	97.6	2,891	107.3	1,843	102.9	
5月	8,635	104.1	6,986	104.5	1,755	97.8	445	93.3	2,947	107.5	1,877	102.3	
6月	8,175	103.1	6,552	102.9	1,596	99.1	437	101.9	2,844	104.3	1,814	100.6	
7年上半期計	49,187	101.7	40,088	101.7	9,568	95.8	2,568	95.5	17,351	103.7	10,955	99.1	
7月	8,114	105.0	6,493	105.0	1,588	102.2	438	106.6	2,824	103.7	1,729	101.6	
8月	8,626	104.7	6,934	105.0	1,846	99.5	494	102.1	2,889	105.1	1,801	105.5	
9月	8,001	102.9	6,519	103.3	1,532	93.2	418	86.9	2,859	106.4	1,807	103.9	

	鶏肉				合いびき肉				他の生鮮肉			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年計	18,558	106.8	17,949	99.1	3,055	103.0	2,207	100.1	3,195	103.8	1,568	97.6
6年上半期計	9,511	104.1	9,345	105.0	1,688	110.8	1,218	110.8	1,492	100.3	780	105.1
6年9月	1,467	98.7	1,526	107.2	282	107.6	200	103.1	228	97.0	135	102.3
10月	1,595	100.5	1,584	105.5	279	106.1	198	107.0	257	96.6	119	93.0
11月	1,629	103.8	1,586	105.2	251	104.1	168	97.1	282	102.9	142	106.8
12月	1,993	102.2	1,801	95.5	250	101.6	183	101.1	414	102.7	184	99.5
6年計	19,033	102.6	18,643	103.9	3,339	109.3	2,380	107.8	3,147	98.5	1,559	99.4
7年1月	1,650	102.6	1,563	104.1	251	96.9	174	91.6	295	118.0	142	100.7
2月	1,601	99.8	1,499	94.6	255	101.2	174	95.1	260	97.4	140	102.2
3月	1,719	104.2	1,650	102.2	290	98.0	207	95.4	267	101.1	156	102.0
4月	1,630	105.9	1,549	102.7	302	105.2	208	104.5	253	108.1	123	100.0
5月	1,664	105.0	1,564	99.7	326	104.8	227	100.9	293	114.5	140	118.6
6月	1,572	103.1	1,458	93.0	313	110.6	216	105.9	229	103.6	105	97.2
7年上半期計	9,836	103.4	9,283	99.3	1,737	102.9	1,206	99.0	1,597	107.0	806	103.3
7月	1,538	109.0	1,436	103.7	305	102.7	210	99.1	237	119.7	128	120.8
8月	1,575	110.4	1,449	103.6	303	103.4	197	98.0	321	116.3	131	127.2
9月	1,599	109.0	1,441	94.4	294	104.3	204	102.0	236	103.5	117	86.7

	ハム				ソーセージ				ベーコン			
	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比	金額	前年比	量	前年比
5年計	4,750	99.8	2,375	96.7	7,876	102.0	5,304	97.5	2,590	99.1	1,455	93.7
6年上半期計	2,061	100.7	1,036	99.0	3,947	102.0	2,581	97.1	1,279	97.2	703	92.4
6年9月	343	100.3	170	98.8	634	100.8	433	104.8	204	100.0	108	100.0
10月	339	99.7	155	93.4	680	99.0	428	93.7	199	92.6	103	93.6
11月	443	109.1	215	113.2	682	102.2	449	102.5	208	96.7	108	93.9
12月	648	92.7	271	81.1	764	106.1	480	99.6	232	93.9	119	86.9
6年計	4,690	98.7	2,274	95.7	8,003	101.6	5,228	98.6	2,524	97.5	1,353	93.0
7年1月	311	98.1	149	93.1	625	102.3	393	98.0	187	94.9	93	86.1
2月	287	98.6	134	92.4	635	100.6	407	99.0	196	96.1	95	82.6
3月	311	94.2	141	82.0	718	105.0	467	106.1	222	100.0	107	93.0
4月	339	103.0	158	99.4	683	100.0	456	101.8	223	100.0	116	91.3
5月	371	98.1	172	90.1	689	100.6	438	95.2	230	105.5	124	103.3
6月	428	102.9	206	98.6	659	100.9	410	97.4	213	99.1	104	88.1
7年上半期計	2,047	99.3	960	92.7	4,009	101.6	2,571	99.6	1,271	99.4	639	90.9
7月	437	100.7	208	95.9	652	104.2	419	102.4	195	97.5	98	89.9
8月	428	101.4	196	95.1	692	103.4	449	99.8	209	103.5	106	101.9
9月	347	101.2	164	96.5	642	101.3	423	97.7	192	94.1	94	87.0

【豚肉調製品輸入通関・9月】 シーズンドなど合計 9681 t で0・3%増

財務省が公表した9月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計9681t(前年同月比0・3%増)と前年同月から増加した。前月から319t増加。国別にみると、米国が5642t(6・0%減)、カナダが1071t(6・3%減)、チリが1440t(約2・2倍増)、メキシコが572t(13・3%減)となった。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合計

は3208t(28・2%増)となった。国別では、米国が1875t(55・6%増)、中国が752t(29・6%増)、デンマークが336t(29・0%減)、タイが109t(7・0%増)、メキシコが108t(0・3%減)、となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、中国41t、タイ40t、韓国20t、デンマーク13t、米国5tなど、6カ国から合計120t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
2024年計	14,103	68,627	10,857	9,125	43	8,819	5,584	118,133
前年比	97.8%	92.6%	133.6%	87.6%	1.2%	59.6%	65.1%	88.1%
2024年9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
11月	1,195	4,952	864	572	0	434	691	8,708
12月	488	5,793	1,008	638	0	237	480	8,644
2025年1月	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
2月	660	5,224	600	528	0	17	397	7,426
3月	1,001	4,507	888	1,034	0	17	260	7,707
4月	1,146	6,379	983	989	0	155	924	10,577
5月	1,721	5,607	913	814	0	233	811	10,100
6月	1,340	7,055	840	704	0	144	635	10,712
7月	1,097	4,858	1,584	880	0	314	747	9,480
8月	1,218	5,687	936	704	0	73	744	9,362
9月	1,071	5,642	1,440	572	0	216	740	9,681
前年同月比	93.7%	94.0%	222.2%	86.7%	-	29.4%	157.8%	100.3%
2025年累計	9,840	49,247	9,528	7,283	0	1,170	6,029	83,131
前年同期比	86.0%	94.4%	120.9%	102.9%	0.0%	15.9%	146.1%	91.5%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
2024年計	11,586	5,191	31,334	1,792	137	1,334	361	51,745
前年比	134.8%	163.2%	152.0%	138.9%	11.9%	133.2%	157.3%	143.5%
2024年9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
11月	606	269	1,293	92	31	44	41	2,377
12月	767	89	2,332	150	0	66	24	3,429
2025年1月	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
2月	460	289	1,996	75	0	44	23	2,887
3月	700	86	1,956	167	0	86	25	3,021
4月	989	326	1,669	96	16	88	54	3,237
5月	646	374	2,058	79	0	43	41	3,240
6月	603	392	1,786	115	0	110	7	3,013
7月	988	231	2,396	131	0	110	33	3,890
8月	785	109	1,664	58	15	22	2	2,654
9月	752	336	1,875	109	0	108	28	3,208
前年同月比	129.6%	71.0%	155.6%	107.0%	0.0%	99.7%	148.5%	128.2%
2025年累計	6,759	2,761	17,817	929	31	765	237	29,308
前年同期比	106.3%	81.7%	99.3%	97.5%	40.5%	100.2%	168.1%	99.0%

プリマハム決算会見④、輸入ポークのブランド開拓強化

【網野食肉本部長(写真)】食肉の数量拡大については、利益率が低くコスト増をカバーできないようなビジネスもあり、一度シュリンクしたものの、それではどんどん事業が縮小してしまうので、しっかりと利益を乗せて数量を伸ばすことに取り組んでいる。上期は前年比110%、下期も同じく110%の見通しだが、これをさらに上乗せしていきたい。

販路拡大に向けては、外食、問屋、さらに加工筋に向けて提案を強化していきたい。今期からはハム・ソーセージの原料部門を食肉事業本部に組織移管。これにより、これまで特にフローズンが弱かったのだが、一緒に買い付けすることによって、外食向けや加工筋など、さまざまなシナジーが出てきており、さらなる販路拡大を図る。

自社グループの養豚事業については、上期にマイナスが出ているが、去年は厳しい猛暑の中で枝肉重量が伸び悩む一方、得意先に対して頭数を供給しなくてはならないことから、早出しが多くなるという悪循環が起こった。それに対して今年、ある程度販売数量をセーブして枝肉重量をしっかり増やしていくという取り組みを進めてきたので、上期は若干前年からマイナスになった。ただ、それが奏功して枝肉重量は戻ってきており、なおかつ、さまざまなオペレーションがうまくいったことで、在庫がしっかりとたまってきているので、下期は一気呵成に打って出ていく。特に現在は年末商戦に向けてやっているところだ。加工品部門との連携については、原料をしっかりと加工品に向けて、良いものを供給していきたい。

輸入食肉については、特に輸入ポークの数量が伸長。一方、数量が急増することで、主力ブランドについても数量確保に苦労する局面も出てきている。これに対し、新たなブランドとして、米国では「ホールストーン」、カナダでは「コネストーガ」などを新たに開

拓。今後拡販を図っていく。輸入ビーフについては、やはり米国産が非常に高値にあり、豪州産もその影響で価格が上がっていることから、数量的には厳しくなっているが、「味わい葡萄牛」「ライムストーン・コースト・ブラック・アンガスビーフ」といったブランドをメインに販売。さらに「米どり」についても若干数量がタイトになってきており、新たな拠点を開発中。しっかりと供給体制を構築していく。



副産物については、自社工場の西日本ベストパッカー、かみふらの工房などから出てくる豚の内臓肉について、味付けやボイルして加工品化する取り組みをすでに行っており、さらに付加価値を高め、収益を上げていきたい。脂や骨などの副生物についても、ラーメン店などに対してしっかりと価格で販売していく。オリジナルブランドのメニュー提案については、量販店などの総菜品に向けて、当社の原料をしっかりと提案していきたい。

養豚事業については、川上と川下の連携を図る。上期は頭数が少なく、厳しい思いをしてきたが、下期はしっかりと頭数を増やしたい。既存農場の生産性、品質向上、設備投資については、当社グループのメイン農場である肉質研究牧場に外部から人材を招へい。スキルやノウハウの見直しを進めている。当社としてもこれまでの常識が覆されるような新たな発見もあり、それをしっかりと実践していくことで実績に変えていきたい。アニマルウエルフェアの取り組みについてもしっかりと進めていく。(連載終わり)

日本食肉消費総合センター

11月15～16日に和牛肉の無料試食イベント実施へ

公益財団法人日本食肉消費総合センターは15～16日の2日間、東京都千代田区の東京国際フォーラム地上

広場で「おいしさ満点! 和牛フェア ～おいしくて、栄養豊富な和牛を食べよう!～」と題した無料試食イ

ベントを開催する。独立行政法人農畜産業振興機構 (alic) の後援を受け、令和7年度和牛肉需要拡大緊急対策事業の一環で行われる。

物価高騰に伴う消費者の生活防衛意識の高まりなどにより、和牛肉の需要が軟調となる厳しい状況の

中、日本が誇る国産和牛肉のおいしさをアピールするため、両日合計で2500人分の無料試食を提供する予定だ。また、和牛肉に関する動画やパネルの展示、リーフレットの配布を通じ、味わいや栄養素、生産、流通に関する情報の普及を図る。

JPPA の「養豚農業実態調査」 WEB・エクセルフォーム回答は 11 月 30 日まで

一般社日本養豚協会 (JPPA) が実施している「養豚農業実態調査」(既報) では、10月末で紙の調査票の回答送付を締め切った。一方、WEB回答およびエクセルフォーム回答は締切日が11月30日とまだ日程的な猶予があり、同協会はより多くの回答を集めるため、各地の養豚農家に協力を呼びかけている。なお、回答の集計後、調査報告書(詳細版)はJPPAのホームページ上に公開される予定。有効回答をした農家には、来年3月に調査報告書(簡易版)とお礼の品物が送付される。回答方法は次の通り。

[WEB回答] 次の回答用URLにアクセス (URL = <https://questant.jp/q/butacyousa2025>)。QRコードからも同URLにアクセス可。



[エクセルフォーム回答] 次のURLからエクセルファイルをダウンロード (URL = <https://goocompany.co.jp/JPPA/2025excelform.zip>)。回答したデータを事務局のメールアドレスに送信。メールアドレス=jppa2025@goocompany.co.jp

[調理食品支出金額・9月] 合計 1万3259円で5・9%増

総務省家計調査(別項)によると、9月の調理食品支出金額は1万3259円(5・9%増)と増加した。

弁当や調理パンなどの主食的調理食品の支出金額は5756円(5・9%増)。他の調理食品も7503円(5・9%増)と増え、このうち冷凍調理食品は1013円(12・4%増)、天ぷら・フライは1139円(9・1%増)、ハンバーグは151円(8・6%増)、ギョーザは167円(6・4%増)、焼き鳥は239円(5・8%増)、カツレツは198円(4・2%増)と前年を上回り、コロッケは186円(1・1%減)、シューマイは101円(4・7%減)で減少した。

調理食品支出金額

単位:円、%

	7月		8月		9月	
調理食品	14,236	107.1	14,479	105.4	13,259	105.9
主食的調理食品	5,911	105.8	6,613	104.0	5,756	105.9
弁当	1,722	103.6	1,782	101.9	1,620	102.9
すし(弁当)	1,237	104.7	1,654	108.7	1,254	103.9
おにぎり・その他	559	106.9	619	106.5	572	109.0
調理パン	598	101.2	657	103.1	582	100.9
他の主食的調理食品	1,795	110.3	1,900	101.4	1,728	111.3
他の調理食品	8,324	108.0	7,866	106.7	7,503	105.9
うなぎのかば焼き	934	108.9	294	99.3	154	105.5
サラダ	550	104.8	562	98.3	595	104.8
コロッケ	182	98.9	181	101.1	186	98.9
カツレツ	201	105.8	208	109.5	198	104.2
天ぷら・フライ	1,151	105.1	1,311	111.9	1,139	109.1
シューマイ	96	82.8	99	110.0	101	95.3
ギョーザ	156	102.6	160	90.9	167	106.4
焼き鳥	252	100.4	317	111.2	239	105.8
ハンバーグ	137	97.2	143	101.4	151	108.6
冷凍調理食品	1,111	112.4	933	110.8	1,013	112.4
総菜材料セット	359	118.5	333	157.8	370	128.5
他の調理食品のその他	3,195	110.1	3,325	103.3	3,191	102.0

資料:総務省「家計調査報告(全国・全世帯1世帯あたり品目別)」

【東京食肉卸売市場】牛はもちあい、豚は弱もちあいか

[牛] 前週は月初に加え、3連休明けということもあり、和牛、交雑牛ともに強もちあい。2～3等級の引き合いが強く、相場全体を下支えしてしたが、先月下旬から和牛5等級も上げ基調、交雑牛4等級はやや落ち着いたものの高値圏で推移している。

量販店の売り場も秋冬物に変わり、焼き材からスライス物へのシフトが順調に進んでいる。モモ系の荷動きが活発になっており、ウチモモは値を上げ、停滞していたロイン系も引き合いが出ている。一方、焼き材は、熊騒動でBBQ消費は盛り上がり「定番以外の動きは期待できない」(卸)ことから、冷凍回しなどで在庫調整を図る動きもみられる。

年末向けの手当てが本格化するまでの端境期であり、今週は前週のもちあいが予想される。和牛去勢A5は2500～2600円、A4は2300～2400円、A3は2100～2200円、交雑牛去勢B4は1600～1700円、

B3は1500～1600円か。

[豚] 前週は連休明けで稼働日が少なかったこともあり、全国と畜頭数が7万頭を大きく上回るなど、1日当たりの出荷頭数は増加。そのため、枝肉相場はやや軟調な展開となり、週後半には上物価格が600円を割り込み、500円台半ばまで下げてきた。

一方、11月に入ってからには特に気温が下がってきており、平年を下回るような気候となっていることで、スライス系を中心に鍋物商材の引き合いは強まっている。

とはいえ、需要の端境期であり、引き続き物価高で消費者の節約志向が根強い中、末端消費自体は決して旺盛ではない。

年末に向けた荷動きが出てくるのはまだ先であり、今週も弱もちあいか。

【大阪市食肉卸売市場】和牛5等級ジリ高、豚堅調な引き合い続く

[牛] 末端消費が鈍く、厳しい相場が続いている和牛5等級相場だが、前週は上向き気配も感じられた。まだまだ実需は見込まれていないが、近年は労働時間の問題で、年末の仕事を前倒しで進めていく事業者が増えており、年末用の仕込みが少しずつ早まっている。

5等級の相場は大幅な上昇にはならないとみるが、このまま今週以降、じわじわと価格を上げそうだ。

和牛4等級については発生率が低いこともあって、低価格需要が強い中で引き合いが強く、価格も上昇傾向にある。引き続き堅調な引き合いを保つだろう。交雑牛についても同様の傾向がみられることから、今週も高値が見込まれる。

[豚] 前週も500円台後半の相場となっている。寒さが本格化してきたことでスライス需要も強まってきており、今週も堅調な引き合いが予測される。

【焼きたてのかるび】アプリクーポンが当たる、韓国フェア第1弾 販売記念Xキャンペーンを開催

(株)物語コーポレーション(愛知県豊橋市、加藤央之社長)が全国32店舗を展開する「焼きたてのカルビ丼」と「ユッケジャンスープ」の専門店「焼きたてのかるび」は、韓国フェア第1弾「プルコギ牛カルビ丼」(税込み790円)などの販売を記念して、7日から、公式Xフォロー&リポストキャンペーンを実施する。参加方法は以下の通り。①同店公式Xアカウント(@

yakitata_kalbi)をフォロー②期間中に投稿される同キャンペーン該当ポストをリポスト=https://x.com/yakitata_kalbi/status/1986561382234661096、開催期間=7～13日、プレゼント内容=抽選で合計100人に「焼きたてのかるびアプリ お食事クーポン500円分」をプレゼント

[資料]2025年9月の食肉輸入通関実績⑩

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
MALYSIA	113 KG	-	-	-	3526	5928
MYANMAR	122 KG	76110	21757	1587299	456323	
INDIA	123 KG	43794	20329	250168	123410	
BANGLA	127 KG	-	-	50000	21716	
AFGNSTN	130 KG	-	-	663	1008	
NEPAL	131 KG	-	-	2046	2051	
ISRAEL	143 KG	-	-	1433	2175	
KYRGYZ	154 KG	-	-	25312	30103	
TADZHIK	155 KG	-	-	500	757	
GEORGIA	157 KG	264	844	264	844	
U KING	205 KG	1041	1777	2210	4537	
FRANCE	210 KG	8553	13063	46237	93566	
GERMANY	213 KG	7614	5449	58280	61504	
SWITZLD	215 KG	2490	4351	22083	40226	
PORTUGL	217 KG	291	689	1020	1912	
SPAIN	218 KG	1008	2615	138159	144627	
ITALY	220 KG	10618	23543	52203	108862	
FINLAND	222 KG	-	-	504	1370	
POLAND	223 KG	-	-	884	3025	
RUSSIA	224 KG	-	-	495	1405	
AUSTRIA	225 KG	2052	2320	6336	10237	
HUNGARY	227 KG	42955	50310	1058457	933188	
SERBIA	228 KG	-	-	19800	16449	
GREECE	230 KG	1220	1628	7597	14937	
ROMANIA	231 KG	27180	17663	426909	264969	
BULGAR	232 KG	5467	5349	167363	142276	
TURKEY	234 KG	3330	4568	38304	58731	
ESTONIA	235 KG	418	1039	3294	7435	
LATVIA	236 KG	5248	9350	5248	9350	
LITHUAN	237 KG	-	-	2974	3995	
UKRAINE	238 KG	20060	6771	264722	88829	
SLOVENI	242 KG	-	-	70	354	
CANADA	302 KG	127557	103295	2513549	1935093	
USA	304 KG	725	2420	4794	14141	
MEXICO	305 KG	97980	57697	300721	159530	
BRAZIL	410 KG	-	-	3800	4177	
ARGENT	413 KG	397084	154121	1956625	800362	
MOROCCO	501 KG	163	606	163	606	
AUSTRAL	601 KG	27692	49020	440786	509802	
NEWZELD	606 KG	166562	539760	837555	2850002	
NEWCALD	618 KG	-	-	216	731	
TOTAL	990 KG	4460335	1984351	39193724	16622044	
(E. U)	991 KG	112624	133018	1975535	1801607	
0410.10-000	食用の昆虫類(他の項に該当するものを除く。)					
R KOREA	103 KG	100	2035	600	2565	
CHINA	105 KG	200	4545	4286	46361	
TAIWAN	106 KG	-	-	400	9406	
VIETNAM	110 KG	1524	592	24319	12588	
THAILND	111 KG	49	1228	346	10919	
TOTAL	990 KG	1873	8400	29951	81839	
0410.90-100	あなつばめの巢					
TAIWAN	106 KG	-	-	20	3470	
MALYSIA	113 KG	600	50284	3900	338678	
INDNSIA	118 KG	-	-	245	32238	
TOTAL	990 KG	600	50284	4165	374386	
0410.90-200	食用の動物性生産品(他の項に該当するものを除く。)(昆虫類、あなつばめの巢及びプロポリス原塊を除く。)					
CHINA	105 KG	-	-	257	8841	
TAIWAN	106 KG	-	-	192	4557	
VIETNAM	110 KG	-	-	6	1386	
KYRGYZ	154 KG	112	859	112	859	
BRAZIL	410 KG	-	-	25	632	
TOTAL	990 KG	112	859	592	16275	
0410.90-300	プロポリス原塊					
BRAZIL	410 KG	762	13738	11468	232389	
AUSTRAL	601 KG	-	-	54	921	
TOTAL	990 KG	762	13738	11522	233310	
0502.10-000	豚毛及びびいのししの毛並びにこれらのくず					
CHINA	105 KG	875	3739	13229	63859	
INDIA	123 KG	-	-	790	8717	
TOTAL	990 KG	875	3739	14019	72576	

(単位：1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
0502.90-000	あなぐまの毛その他ブラシ製造用の獣毛及びこれらのくず(豚毛及びびいのししの毛並びにこれらのくずを除く。)					
CHINA	105 KG	200	409	8343	117033	
U KING	205 KG	3	4918	71	45614	
TOTAL	990 KG	203	5327	8414	162647	
0504.00-011	動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のもの)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
CHINA	105 KG	205918	1057352	2111723	10205498	
MONGOL	107 KG	1481	14205	14156	144653	
USA	304 KG	-	-	64095	136426	
URUGUAY	412 KG	-	-	220	234	
AUSTRAL	601 KG	18164	93171	526803	2482601	
NEWZELD	606 KG	97392	460143	446558	2156865	
TOTAL	990 KG	322955	1624871	3163555	15126277	
0504.00-012	牛の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
SPAIN	218 KG	-	-	77523	36752	
ITALY	220 KG	-	-	517	478	
CANADA	302 KG	22677	6880	468737	142972	
USA	304 KG	690950	277315	7864829	3616522	
MEXICO	305 KG	131246	34391	1204257	366382	
PANAMA	312 KG	1480	371	7410	2703	
AUSTRAL	601 KG	94994	41189	518709	211075	
TOTAL	990 KG	941347	360146	10141982	4376884	
(E. U)	991 KG	-	-	78040	37230	
0504.00-019	動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
MALYSIA	113 KG	6930	10954	16114	26111	
FRANCE	210 KG	6000	3030	10000	5066	
SPAIN	218 KG	9860	5996	93850	56666	
POLAND	223 KG	547	355	7137	4052	
CANADA	302 KG	72209	36804	364209	232541	
USA	304 KG	31549	14751	869269	410582	
MEXICO	305 KG	9237	4483	159030	77987	
PANAMA	312 KG	4285	1052	16785	4211	
CHILE	409 KG	1010	548	15600	9742	
BRAZIL	410 KG	1000	442	3500	1575	
URUGUAY	412 KG	3310	1657	41715	21729	
ARGENT	413 KG	1008	352	6192	2270	
TOTAL	990 KG	146945	80424	1603401	852532	
(E. U)	991 KG	16407	9381	110987	65784	
0504.00-091	牛のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
IRELAND	206 KG	24250	20074	55342	45676	
FRANCE	210 KG	-	-	11432	5837	
SWITZLD	215 KG	-	-	30	243	
SPAIN	218 KG	9498	7747	58375	36149	
ITALY	220 KG	-	-	4650	4150	
FINLAND	222 KG	-	-	2518	410	
POLAND	223 KG	-	-	513	309	
AUSTRIA	225 KG	-	-	21987	14843	
CANADA	302 KG	-	-	37869	22791	
USA	304 KG	67878	94707	537769	740099	
MEXICO	305 KG	17145	11988	191525	106747	
NICARAG	310 KG	19439	30985	173004	311239	
GST RCA	311 KG	-	-	94767	127996	
PANAMA	312 KG	12856	20980	70483	143500	
CHILE	409 KG	12308	15977	149992	183680	
AUSTRAL	601 KG	131219	75147	1562871	1335353	
NEWZELD	606 KG	22752	24789	183458	243609	
TOTAL	990 KG	317345	302394	3156585	3320813	

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月7日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,041	2,582	2,273	-	-
		安値	2,376	2,325	2,183	-	-
		平均	2,644	2,418	2,221	-	-
	52頭	頭数	37	13	2	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,275	2,493	2,337	-	-
		安値	2,273	2,160	2,053	-	-
		平均	2,607	2,379	2,226	2,034	-
	218頭	頭数	147	57	13	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,301	2,161	-	-	
2頭	頭数	-	1	1	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,840	1,649	1,594	1,498	-
		21頭	頭数	2	4	7	8
	雌 C	平均	-	-	1,398	1,462	-
		3頭	頭数	-	-	1	2
	去 B	平均	-	1,782	1,627	1,505	-
		24頭	頭数	-	6	12	6
去 C	平均	-	-	1,448	1,413	-	
	4頭	頭数	-	-	1	3	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	831	-	(競り)	(相対)	
売買	430	1,111	284.0	-	17	83

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,493	1,934	1,688	1,592	-
	B	-	1,883	1,632	1,591	1,344
和 去	A	2,625	2,305	2,218	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,121	1,044
	C	-	-	-	1,062	1,008
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,196	998
交 雌	B	1,788	1,677	1,570	1,421	-
	C	-	1,515	1,485	1,373	-
交 去	B	1,847	1,739	1,614	1,486	-
	C	-	-	1,501	1,297	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	690	739	652	640	522
	安値	562	540	508	467	400
	平均	589	561	546	510	478
	頭数	(18)	(399)	(372)	(208)	(114)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	681	-	-	535
	安値	-	681	-	-	443
	平均	-	681	660	-	499
	頭数	(-)	(5)	(1)	(-)	(11)

[大阪食肉卸売市場] 11月7日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,439	2,215	-	-	-
(頭数)	(4)	(2)	(1)	(4)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(1)	(1)
和 去 A	2,545	2,256	-	-	-
(頭数)	(10)	(6)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,917	1,697	1,599	-
C	-	-	1,509	-	-
交雑去 B	-	1,871	1,678	1,524	-
C	-	1,745	1,611	-	-
豚	583	569	556	479	487

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	11月7日	11月6日	(11月累計)
豚	68,300	71,500	282,700
成牛計	4,630	4,080	18,760
和牛雌	1,280	1,030	5,040
和牛去勢	1,010	1,200	5,180
乳牛雌	760	710	2,880
乳牛去勢	410	350	1,590
交雑雌	560	440	1,990
交雑去	610	350	2,060

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月7日

	1,570円	(前日 1,593円)
東京		
大阪	1,662円	(前日 1,570円)

[豚・全農建値] 11月7日

上	中	取引頭数	市況
579円	558円	1,250頭	弱もちあい

と畜	牛 60頭	豚 229頭	牛概況	もちあい
売買	牛 69頭	豚 144頭	豚概況	続落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月7日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	583 (583)	- (-)	6,390	-	もちあい
仙台 [中]	570 (606)	486 (536)	491	102	反落
栃木 [地]	600 (596)	521 (527)	1,630	102	続伸
茨城 [地]	556 (589)	525 (557)	1,313	615	続落
群馬 [地]	573 (552)	485 (463)	2,051	385	反発
さいたま [中]	590 (584)	578 (575)	319	316	小反発
東京 [中]	561 (569)	546 (544)	831	1,111	続落
横浜 [中]	588 (593)	550 (560)	688	689	続落
山梨 [地]	- (605)	- (617)	111	7	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	611 (596)	593 (583)	986	304	上伸
京都 [中]	568 (610)	586 (594)	101	63	もちあい
大阪 [中]	569 (594)	556 (562)	229	104	続落
神戸 [中]	590 (606)	586 (594)	-	55	下押し
岡山 [地]	636 (624)	621 (615)	335	274	強気配
広島 [中]	600 (-)	573 (-)	468	50	反落
福岡 [中]	605 (621)	578 (601)	564	223	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 10月31日～11月6日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 11月6日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,190,148 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,069	1,188	1,234	1,169	60,348
うで	680	758	818	769	97,051
ロース	1,015	1,134	1,188	1,120	126,653
ばら	1,183	1,265	1,372	1,253	142,075
もも	720	745	797	746	146,960
ヒレ	1,090	1,121	1,188	1,124	14,416
セット	896	973	1,080	981	602,645

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	622	732	937	271
ムネ	487	555	702	200

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	648	706	1,030	5
ムネ	487	529	622	4

◇近畿圏 総重量 777,376 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,166	1,274	1,347	1,270	66,780
うで	689	730	810	744	127,136
ロース	1,058	1,242	1,272	1,183	110,023
ばら	1,253	1,288	1,371	1,298	145,290
もも	691	741	826	741	169,867
ヒレ	1,166	1,257	1,350	1,240	10,280
セット	905	978	1,093	990	148,000

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月6日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,002	776	550	600	650
安値	600	487	290	360	350
平均	735	559	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

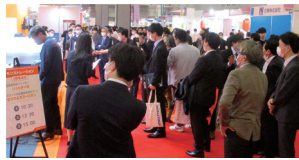
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します